

東陽テクニカ
Synesis
ログ取得手順書

Rev.F

内容

| | |
|----------------------------------------------|----|
| 1. はじめに..... | 3 |
| 1.1. 概要..... | 3 |
| 2. ハードウェア・ログの取得..... | 3 |
| 2.1. 共通手順（モデル名・シリーズ名に依らない共通の手順）..... | 3 |
| 2.2. Synesis Distributed（モデル名の末尾が R）の場合..... | 5 |
| 2.3. Synesis Portable（モデル名の末尾が P）の場合..... | 7 |
| 3. ソフトウェア・ログの取得..... | 8 |
| 3.1. SSH により取得する場合..... | 8 |
| 3.2. ブラウザにより取得する場合..... | 9 |
| 4. 必要な情報の確認..... | 10 |
| 5. ログ送付先・お問い合わせ先..... | 10 |

文書改訂履歴

| 改訂年月日 | 版数 | 改訂内容 |
|------------|----|-----------------------------------------------------------|
| 2016/05/09 | A | 初版 |
| 2016/06/03 | B | Synesis Portable のハードウェア・ログ取得手順を追記 |
| 2016/07/15 | C | 共通手順を追加。キャプチャポートの情報取得手順を追記 |
| 2017/02/27 | D | ソフトウェア・ログ取得手順の追記 |
| 2017/03/31 | E | ハードウェア・ログ取得手順の更新 |
| 2017/04/06 | F | HW のアラートログ, コントローラログを取得する手順を追記 (Distributed モデルのみ) |

1. はじめに

1.1. 概要

本書は、東陽テクニカの製品 Synesis のログ取得手順と送付方法について記載したものです。

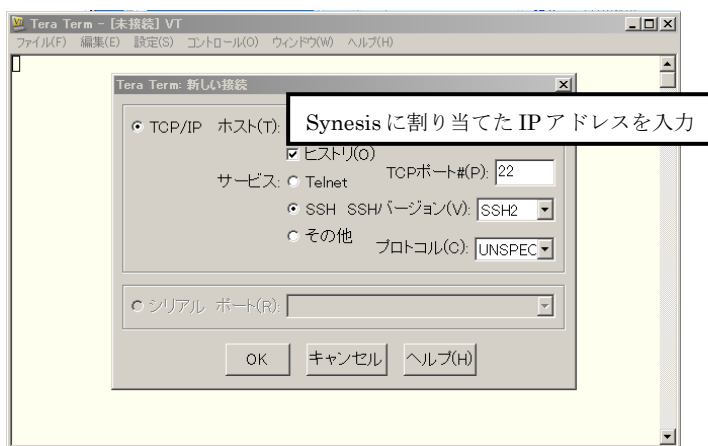
2. ハードウェア・ログの取得

2.1. 共通手順（モデル名・シリーズ名に依らない共通の手順）

1. TeraTerm などのターミナルエミュレータを利用して、Synesis に SSH で接続します

ユーザー名(※デフォルト) : toyo

パスワード(※デフォルト) : admin



[※手順 2～5 について]

ご利用のバージョンによっては、本書に記載のファイルやディレクトリが存在しない場合があります。その場合は、5 章のお問い合わせ先へご連絡ください

2. 以下のコマンドを入力し、ディレクトリを移動します。

コマンド: `cd /usr/local/synesis/synesis_tools/GetPortInfo` ※□は半角スペースを表します。

3. 以下のコマンドを入力し、プロンプトが返ってくるのを待ちます。パスワードを求められた場合は、パスワードも入力します。

コマンド: `sudo ./get_port_info.sh`

パスワード(※デフォルト) : admin

4. 以下のコマンドを入力し、ログファイル(※出力例参照)が存在していることを確認します。

コマンド: `ls`

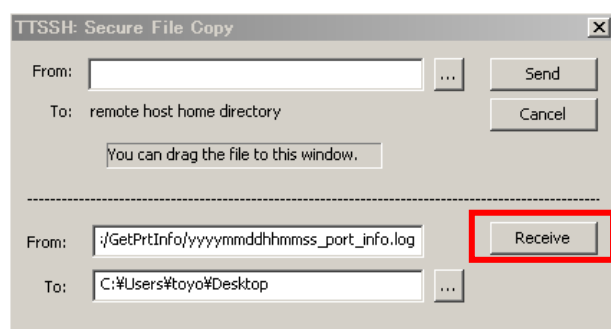
出力例: `yyyymmddhhmmss_port_info.log get_port_info.sh main.sh`

5. SCP などを利用して、手順 4 で生成したログを取得します。



例)Teraterm での SCP 実行例

場所 : /usr/local/synesis/synesis_tools/GetPortInfo/yyyyymmddhhmss_port_info.log



6. 手順 2.2～2.3 の中から、Synesis のシリーズ・モデルに該当する手順を実施してください。

2.2. Synesis Distributed (モデル名の末尾が R) の場合

1. 以下のコマンドを入力します。パスワードを求められた場合は、パスワードも入力します。
コマンド: `sudo su -` ※は半角スペースを表します。
パスワード(※デフォルト): `admin`
2. 以下のコマンドを入力します。
コマンド: `dellsysteminfo`
3. `root` のパスワードを求められるので、入力します。
パスワード(※デフォルト): `admin`
4. 以下のメッセージが表示され、プロンプトが返ってくるのを待ちます。
 - * Gathering Chassis information...
 - * Gathering Storage information...
 - * Gathering Software information...
 - * Gathering Logs...
 - * Gathering System Summary information...
 - * Preparing and Compressing Report...
 - * Saving DSET CIM report to path: /root with report file name:
DSET-Report-for-{{ホスト名}}-SvcTag-{{7桁の英数字}}-{{その他英数字}}-on-{{ログ取得日時}}.zip (※)
5. 以下のコマンドを入力し、`/root` に手順 4 で生成したログファイル(※)が存在していることを確認します。
コマンド: `ls /root/`
6. 手順 5 で生成したログを、「2.1 共通手順 (モデル名・シリーズ名に依らない共通の手順)」の手順 1 でログインした直後のカレントディレクトリにコピーします。
コマンド: `cp /root/DSET-Report-for-{{ホスト名}}-SvcTag-{{7桁の英数字}}-{{その他英数字}}-on-{{ログ取得日時}}.zip /home/toyo/`
7. 以下のコマンドを入力します。
コマンド: `omreport system alertlog > /var/log/alertlog.txt`
8. 以下のコマンドを入力し、出力されたファイルの内容を確認します。このとき、「Severity: Critical」のようなアラートログではなく "Error! XML Transformation failed" などと出力されていたら、ログ取得に失敗していますので、再度手順 7 から実行します。
コマンド: `less /var/log/alertlog.txt`

9. 以下のコマンドを入力し、コマンド実行後に表示されるレスポンス中の”ID:”に表示された番号を確認します。

コマンド: `omreport storage controller`

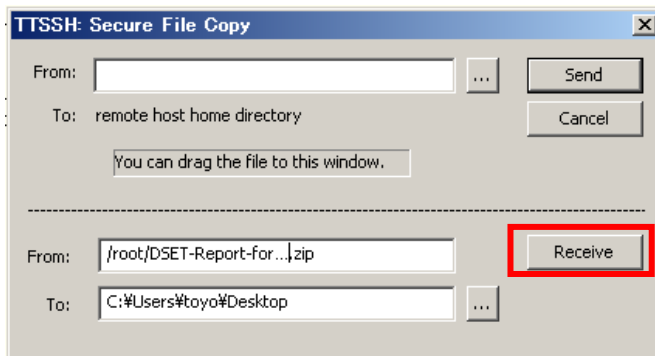
10. 以下のコマンドを入力します。最後の”*”には、前項で確認した ID 番号を入力します。

コマンド: `omconfig storage controller action=exportlog controller=*`

11. SCP などを利用して、手順 6、7、10 で出力したログファイル 3 つを取得します。

場所:

- (1) `/home/toyo/DSET-Report-for-{{ホスト名}-SvcTag-{7桁の英数字}-{その他英数字}}-on-{{ログ取得日時}}.zip`
- (2) `/var/log/alertlog.txt`
- (3) `/var/log/lsi_xxxx.log` (xxxx は手順 9 のコマンド実行日)



以上で、ハードウェア・ログの取得は完了です。次にソフトウェア・ログを取得します(「3. ソフトウェア・ログの取得」へ進んでください)。

2.3. Synesis Portable (モデル名の末尾が P) の場合

1. 以下のコマンドを入力し、ディレクトリを移動します。

コマンド : `cd /usr/local/synesis/synesis_tools/SSDchecker` ※□は半角スペースを表します。

2. 以下のコマンドを入力し、プロンプトが返ってくるのを待ちます。

コマンド : `sudo ./ssdchecker.sh`

3. 以下のコマンドを入力し、ログファイル(※出力例参照)が存在していることを確認します。

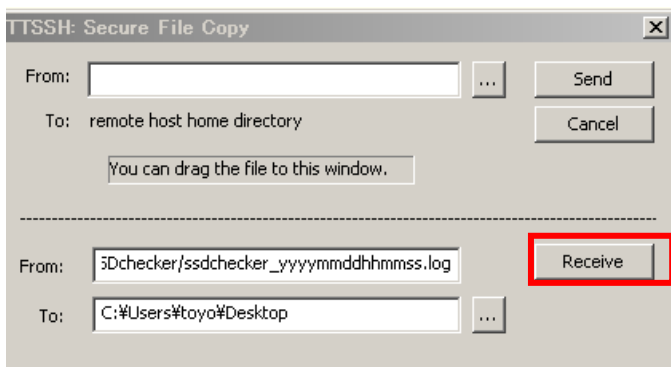
コマンド : `ls`

出力例 : **ssdchecker_yyyymmddhhmmss.log** ssdchecker.sh tools

4. SCP などを利用して、手順3で生成したログを取得します。

場所 :

`/usr/local/synesis/synesis_tools/SSDchecker/ssdchecker_yyyymmddhhmmss.log`



以上で、ハードウェア・ログの取得は完了です。次にソフトウェア・ログを取得します(「3. ソフトウェア・ログの取得」へ進んでください)。

3. ソフトウェア・ログの取得

3.1. SSH により取得する場合

1. 以下のコマンドを入力します。パスワードを求められた場合は、パスワードも入力します。

コマンド：

```
sudo /usr/local/synesis/synesis_tools/synesisLogCollector/synesis_log_collector.sh
```

※は半角スペースを表します。

パスワード(※デフォルト)：admin

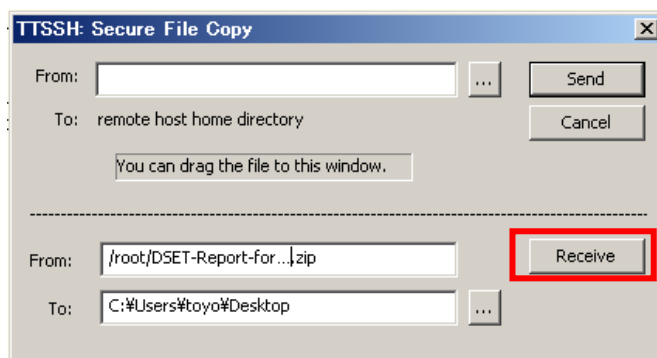
2. カレントディレクトリに以下のような圧縮ファイルが生成されます。

例：synesis_log_yyyymmdd.tar.gz

3. SCP などを利用して、手順 2 で生成したログを取得します。

場所：

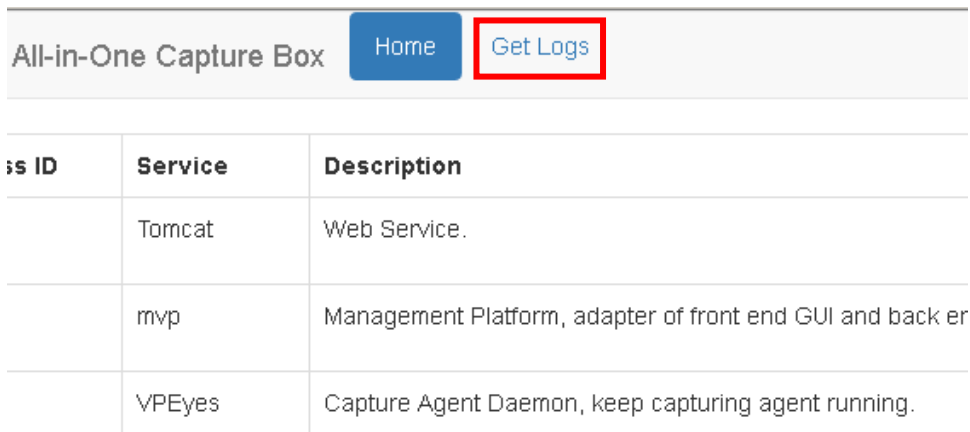
/<カレントディレクトリ>/synesis_log_yyyymmdd.tar.gz



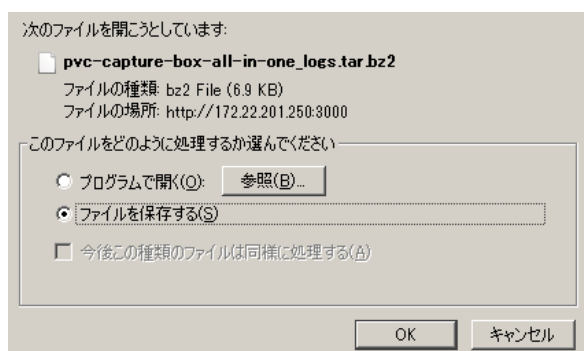
以上で、ソフトウェア・ログの取得は完了です。

3.2. ブラウザにより取得する場合

1. ブラウザ(FireFox)より以下の場所へアクセスします。
“http://{Synthesis に割り当てた IP アドレス}:3000”
2. 以下画面が表示されるので、「Get Logs」をクリックしてください。



3. ダイアログが表示されるので、ログを保存します。



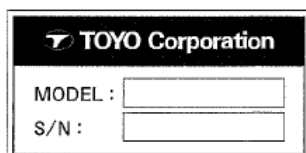
以上で、ソフトウェア・ログの取得は完了です。

4. 必要な情報の確認

お問い合わせの際は、以下の情報が必要になりますので、ご確認をお願いいたします。

[必要な情報]

- モデル名
- シリアルナンバー(S/N)
本体に貼付されている下記シールに記載されています



- Synesis ソフトウェアのバージョン
Synesis ログイン画面に表示されています



5. ログ送付先・お問い合わせ先

お問い合わせ内容と共に「2～3章にて取得したログ」と「4章にて確認した必要情報」を下記弊社サポート宛てへお送りください。

[問い合わせ先]

株式会社東陽テクニカ

技術部 Synesis サポートグループ

E-Mail : synesis-support@toyo.co.jp

TEL : 03-3245-1107(直通)

受付時間：月曜～金曜 9:30～17:30 (土日、祝日、年末年始および弊社指定休日を除く)

以上